

新年会 (1 月 18 日) でお会いしましょう。



高橋真理さん(クラリネット)プロフィール
軽井沢町出身、在住。上田高校卒業。日本大学芸術学部音楽学科卒業後、桐朋学園大学カレッジディプロマコースで学ぶ。信州新世代のアーティスト支援事業 next、登録アーティスト。これまでに、廣田喜美、鈴木良昭、山本正治、四戸世紀の各氏に師事。演奏活動のほか島村楽器佐久平店講師など、後進の指導にもあたっている。



細井美来さん(ピアノ)プロフィール
桐朋学園女子高等学校音楽科、桐朋学園大学演奏学科を経て桐朋学園大学院大学修士課程修了。佐久市在住。重要文化財日三笠ホテル創立 100 年記念コンサートや、軽井沢大賀ホールでの「はじめの一歩コンサート」「3・11 チャリティコンサート」「ショパン国際フェスティバルインジャパン」などに出演。

クラリネットのミニコンサート

高橋真理さん(103 期)の演奏 ピアノ伴奏は細井未来さん

関東同窓会は 1 月 18 日(木)に千代田区一ツ橋の日本教育会館喜山俱樂部で新年会を開きます。

アトラクションは高橋真理さん(103 期)のクラリネットのミニコンサートです。

高橋真理さんは上田高校吹奏楽班で活躍後、日本大学芸術学部音楽学科、桐朋学園大学カレッジディプロマコースで学んだ後、2012 年佐久市フレッシュジャズ・コンサートに出演、信州新世代のアーティスト支援事業 next 登録アーティストとなっています。現在は軽井沢町に在住で、島村楽器佐久平店講師など後

進の指導にもあたっています。

当日は、佐久市在住で「ショパン国際フェスティバルインジャパン」などに出演、YAMAHA 音楽教室でのピアノ講師など後進の指導にあたり、細井美来さんのピアノとともに、シューマン「アダージョとアレグロ」、「クラリネットポルカ」などクラシックのほか、カーペンターズの「イエスタデーワンスモア」、「上田高校校歌」や、作詞家として数々の昭和の名曲を作られ昨年逝去された山川啓介さん(61 期)の曲も演奏してくれる予定です。

ミニコンサートの後は懇親会。楽しい会話と、お酒、お料理をどうぞ。誘い合っでご参加ください。お待ちしております。

会費納入にご協力を

関東同窓会の持続的発展のために年 2000 円、会費納入にご協力をお願いします。

関東同窓会では総会、新年会などの開催や年 2 回の会報発行を通して会員の交流の場を提供するとともに、テーマごとの委員会活動を実施しています。それらの活動の多くは年会費、寄付金および会報広告料によって賄われています。

会報は年会費の納入の有無にかかわらず全ての会員に対して送付されており、一人当たり一回 150 円の費用がかかっています。

会費未納者に対する会報送付停止の是非に議論もありました

が、会報送付の停止は逆に同窓会を弱体化させる事態を招きかねないと考えます。

昨年度の年会費納入率は金額ベースで 30% でした。前年度比 5 割の増加を見ましたが、十分ではありません。今回は特に 74 期から 86 期の会員の皆さんを対象に代表幹事のご協力を仰ぎ、年会費納入促進キャンペーンを実施します。

基金活用検討委員会も「基金の活用は若手会員の発掘、支援に向けられるべき」との意見でありました。そこで、特に若い世代に訴えます。会員の皆さまのご協力をよろしく願います。

会計長 堤 達 (67 期)

- 【日時】 2018 年 1 月 18 日 (木)
18:00 受付開始
18:30 開演・演奏会
19:20 懇親会
- 【会場】 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2
日本教育会館 9 階 喜山俱樂部
- 【会費】 5000 円
- 【交通】 地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線
神保町駅 A1・A8・A9 出口
徒歩 3 分
地下鉄東西線竹橋駅 1B 出口
徒歩 4 分



第56回総会に317人

山浦元最高裁判事が講演 母校室内楽班が「真田丸」演奏

関東同窓会は6月24日(土)、東京都千代田区一ツ橋の如水会館で第56回総会を開いた。母校や同窓会本部、関西同窓会、中南信支部の来賓も合わせてこれまでで最多となる317人が出席した。

▽山浦善樹さんが講演

第一部の講演会では、弁護士出身で2012年から16年7月まで4年半最高裁判所判事を務めた山浦善樹さん(63期)が「最高裁判事になったマチ弁の思うこと」と題して、日本の法曹界の最高機関での仕事や、市井の法曹人としての筋の通った生き方を話した。

丸子町出身の山浦さんは、人見知りで内気な中学生だったが、上田高校に入学して新聞班で活動、国際



講演する山浦善樹さん

問題や社会への関心を深め、立候補して生徒会長を務め、一橋大学法学部に進学。世界中で若者のベトナム戦争反対運動が高まる中で反戦平和運動にも参加、三菱銀行に就職したが「肌が合わず」に1年で退社し、高校の同級生だった夫人に支えてもらいながら独学で司法試験に合格した。法律事務所企業法務や倒産などを手がけた後、「マチ弁」に転じ、法的な武器を持たない中小企業や市民の利益を守る弁護士として約30年活躍。最高裁判事に立候補し東京弁護士会、日弁連の推薦を得て就任したいきさつを紹介した。最高裁判事として4年半の任期中に民事・刑事合わせて14,000件を担当、普通預金の遺産分割に関する大法廷判決の判例変更を実現させるなどの実績を、「砂の中から砂金を探し出した」ことに例えて披露するなど、約40分間にわたり講演した。

山浦さんは、自称「お気の毒な弁護士“small-time lawyer”」が、司法の最高機関の裁判官になったとユーモアを交えて振り返り、無医村の医師だった岳父の姿を通して、自身を必要とする人のために知識や技能を役立てる人生の意義深さを学んだこと、高校の新聞班の活動で社会への目を広げたことを原点に自分の生き方を表現してきたことを、20余



室内楽班の演奏に会場も盛り上がった

のエピソードにして、飾ることなく語った。弁護士として印象に残る仕事に、戦前に若い学生が通った老朽ビルヤード店を、戦後に客足が落ち込んでも経営し続ける老女が立ち退きを迫られた不動産売却訴訟で、依頼者の心情に寄り添う形で異例の「和解」により解決をしたことを挙げた。

最高裁判事の仕事や、裁判は結論を出すまで締め切りなしで審理を尽くす原則など、日本の司法制度の長所を誇りを込めて語り、笑顔を絶やさず人柄のじむ語り口に大きな拍手が送られた。

▽2017年度の会計計画や予算、新役員を選出案などを承認

続いて開いた総会では、高梨泰男会長(62期)が「300人を超える参加者は過去最高のことで大変ありがたいことです。44期から105期まで幅の広い人が顔を揃えるというのはそう滅多にあることではない。本年度は会費の納入促進キャンペーンに取り組み、71人に新たに納入してもらい、また同

期会の結成も支援した結果、70期などいくつかの期で結成されるなど成果があった。5つの委員会もなんとか定着してきたかと思っている。次の執行部に引き継ぎたいと思う」とあいさつした。議事では会務報告、決算報告のほか、母校室内楽班の招聘、用交通費など基金の活用、IT推進委、若手会員対策実行委、学生会員の社会デビュー支援活動委、会員交流委、女性同窓生の会委員会の活動計画と予算案が承認された。上原昇新会長(65期)が「会報を見返すと、支部時代を通じて19代目の会長となる。今回は過去最高の317人を集めた幹事の70期は5年前に9人しか集まらなかったが、今回は54人が集まり記録的な成果を出してくれた。同窓会はゴールのない駅伝のたすきをつなぐことに似ている。総会を通じてさらにたすきをつなぐことになる。私は団塊世代だが、若い世代と一緒に新執行部として頑張っていきたい」と就任のあいさつをした。

▽重厚な弦楽の演奏楽しむ

第3部の懇親会は隣のスターホールに会場を移し、母校の室内楽班30人による弦楽の演奏を楽しんだ。指揮は顧問の柳沢哲先生。生徒の代表が合間に曲の解説や弦楽奏について軽妙な説明を交えながら、7月の全国大会に出場するため練習が追い込みに入っていることなどを紹介。OGでプロの塩野入清美さん(85期)や寺島志織さん(105期)も加わった特別編成により、ヘンデルの歌劇「ジュリアス・シーザー」序曲と「ア

95号主な記事	
2017年度総会報告	2
会長あいさつ	3
母校SGHレポート	6
ゆかりの偉人 小宮山量平	7
矢島渚男さん芭蕉に迫る新著	8
赤松小三郎研究会	10
真田丸ツアー/北国街道を歩く	12
上田高校NOW	15
ユニバサッカー金メダル報告	18
山川啓介さんをしのぶ	22
うえだ人 滝沢研二さん	24

リア」、クライスラーの「愛の悲しみ」など6曲を、鍛え上げられたアンサンブルで披露。重厚なハーモニーを響かせた。4曲目に「みなさまお待ちかねの、あの曲」として会場の期待を高める中、テレビ時代劇「水戸黄門」のテーマ曲が流れて笑いを誘ったあと、NHK大河ドラマ「真田丸」のテーマ曲を演奏し盛り上げた。最後は室内楽班の演奏に合わせて全員が校歌を歌った。

▽山浦さんが旭日大綬章受賞

今総会で講演した関東同窓会の山浦善樹さんが、秋の叙勲で旭日大綬章を受賞しました。



財政健全化と会員交流活性化

会長 上原 昇 (65期)

新年明けましておめでとうござい
ます。

昨年6月の総会で会長職を高梨奉
男さん(62期)から引き継いで半年が
経ちました。

関東同窓会の歴史を紐解くと、
1958年発足した東京支部時代か
ら数え今年で60年目を迎え、私で第
19代目の会長となります。

私はこれまで長い間、関東同窓会
の役員や同窓会本部の理事を務めて
きましたので、その経験や人脈を生



上原昇会長
かして
いた
と思
いま
す。

して、各地の同窓会(支部)の総会や
母校にお邪魔する機会が増えまし
た。どこへ行っても幅広い年代の同
窓生の活躍ぶりや母校生徒たちの元
気な姿に接し、大変心強く感じてい
ます。

新執行部は26人全役員の役割分担
を決め、以下の方針に基づいて会の
運営に当たってまいります。

1・会財政の健全化

- ・年会費はキャンペーンなどを通
じ新規納付者を増やします。
- ・会報広告の新規クライアントの

開拓を進め、収入増を図ります。

2・会員交流の活性化

- ・第57回総会準備を正副実行委員
長の71、76期を中心に早期立ち
上げ、総会の動員力強化を図り
ます。
- ・新規発足の絵画同好会支援や既
存同好会・研究会の活性化を進
めます。
- ・女性会員の組織化と活動の支援
を行います。
- ・80、90、100期台の若手
同期会立ち上げをサポートしま
す。

3・会報とHPの充実

- ・会報記事の充実(若手会員の活
動紹介など)を図ります。
- ・編集長一人体制から編集委員会
による業務の共有化と分散化を
行います。
- ・同窓会ホームページ(HP)のコ
ンテンツの充実とリンク先の多
様化を行います。

4・関東同窓会60年記念誌作成

- 2018年度中に、過去の会報や
同窓会HP記事を集約して、創立60
年を記念した冊子(またはDVD)の
作成を検討します。
- 皆様のご支援をよろしくお願い申
し上げます。

2018年1月1日

関東同窓会役員役割分担

委員会/役割	氏名(期)
IT推進委員会	委員長 原田義則副会長(65)
	副委員長 橋詰富博(73)
	委員 石黒久仁子(80)
若手会員対策委員会	委員長 塩野崎英二副会長(66)
	委員 鴫澤省一(76)
	委員 四方ゆかり(81)
会員交流推進委員会	委員長 増澤章副会長(68)
	担当委員 古畑克巳(69)
	担当委員 荻原貴(79)
女性同窓生の会委員会	委員長 池田有美子副会長(69)
	委員 荒木由美子(69)
	委員 渡邊温子(72)
会務全般(学生会員支援 委員会など)	責任者 田口博幹事長(66)
	補佐 中村冠(70)
	補佐 関博明(72)
	補佐 渡邊博(78)
編集委員会	委員長 本村龍生編集長(69)
	委員 望月亮子(71)
	委員 福田礼子(72)
	委員 戸田由香(79)
会計全般	責任者 堤達会計長(67)
	副 荻原貴副会計長(79)
会報広告・寄付推進	委員長 塩野崎英二副会長(66)
	補佐 一之瀬康利(75)
	補佐 小泉行徳(75)
同窓連	県事務局長 倉沢裕監事(69)
	東信同窓連担当 堤達会計長(67)
本部同窓会	理事 丸山暢久顧問(65)



上田高校室内楽班の柳沢哲顧問と班員代表に
カンパを手渡す上原会長

母校室内楽班にカンパ渡す

上原会長 総会演奏に謝意

7月2日、日曜日に母校を訪れま
した。ちょうど松尾祭が開催されてい
る最中で古城の門を潜るとアンデパン
ダン展で大賑わいです。

6月24日の関東同窓会総会で母校
室内楽班を招いて演奏会を行い、会
員の皆さんからその場でカンパを募
り、集まった中から15万円を室内楽
班に寄付することにしました。

当日は内堀校長先生同席のもと、

顧問の柳沢哲先生と班員代表に
寄付金をお渡しすると、皆さん
大変喜ばれ「関東同窓会の方々
に心から感謝します」とのお礼
のメッセージをもらいました。室
内楽班の今後の活躍を期待して
います。

会長 上原昇

ようこそ先輩 社会講座

同窓生が母校で専門分野講義

上田高校で9月、社会の各界で活躍している卒業生を講師に招き、専門分野について話をしてもらう「社会講座」が開かれました。講師を務めた方の報告を紹介します。

素材産業の役割

片岡拓雄 (77期)



片岡拓雄さん 当日、教室まで案内をして頂いた生徒から次のような話を伺いました。「上田高校はSGH指定校となっていて、社会講座はSGHのカリキュラムの一部となっているようです。」これを受け、果たして私ごときに何を伝えることができるのだろうかという不安を払拭することはできません。しかし、時間の着実な経過は講義開始を待ってくれませんでした。

私のテーマは、「サステイナブル社会実現に向けた素材産業の役割」としました。産業界とりわけ素材産業においては、ライフサイクルの長い製品をつくること、そ

れをいかに効率的につくるかという生産技術が求められます。また、製品の設計側面では、いかに、軽量化するかということが重要となります。私は、現在勤務している会社に関連して、金属チタンやポリプロピレンを具体的題材として取り上げ、ボーイング787などの新型旅客機の設計思想や、自動車軽量化による燃費改善に向けた素材メーカーの挑戦等について、お話をしました。

2017年度社会講座講師

ジャンル	講師氏名	卒期	ジャンル	講師氏名	卒期
国際学	山本 崇	88-2	環境学	関 良基	86-3
外国語学	植松真弓	92-5	心理学	渡邊智之	94-9
経済・経営学	四方ゆかり	81-6	情報学	寺島崇幸	89-5
化学	片岡拓雄	77-4	スポーツ	船渡和男	72-6
工学	中沢信明	86-4	マスコミ	五十嵐洋人	78-2
医学・薬学	城下 智	93-8	公務員	小林秀一	71-7
看護・福祉学	宮沢紀美	93-8	地域・サービス	鈴木隼人	97-9

後半の時間は、学習と行動(成果の方程式)に関して、時間を割くこととしました。時間と学習量との関係(経験曲線)については、も

のごとを学習する際には最初は抵抗があるが、ある程度がんばるとそこから急に理解が早まる。人間の脳の処理能力は10の15乗ビット

で誰もが公平に与えられており、成果は能力ではなく、姿勢と方法考え方に拠る部分が多い。上田高校の校訓、「文武両道」、「自学

敵を知り己を知る

小林秀一 (71期)



小林秀一さん 今年9月に「社会講座」の講師を依頼され、久しぶりに古城の門をくぐりました。私の講座には、公務員を希望する生徒を中心に35人が参加されましたが、そのうち公務員希望者が26人(内地方公務員20人)、進路が決まっていな

生徒が9人でした。公務員希望者が多かったのも、最初に公務員の仕事の特徴について説明しました。また、国家公務員と地方公務員の仕事の違いについて説明し、専門性の高い仕事を

自習、「試百難」が示すところは、プレッシャーは受けるものではなく、楽しむもの。行動を通じて、

見えてくる景色は必ずあるということ。最後に、高校生活を楽しんでいただきたいということ。

果たして、伝えることはできたのでしょうか。そう思いつつ、上田駅へ向かう帰り道、やや遠回りして当時百貨店があったあたりに下る道を探して迷い歩いていたら、通りかかった老夫婦から丁寧

順を教えてくださいました。

教職員の方々に留まらず、同窓会の方々のご尽力、地域市民の思いやり等、我々はい

るような面で支えられてきたということ。上田高校の歴史の重みとともに、40年経過した今、ふと気づくことができました。

東邦チタニウム(株)

機能化学品事業本部

執行役員触媒統括部長

ているかどうかです。

したいのであれば省庁ごとに担当業務が決まっている国家公務員か技術系の公務員が良いというお話をさせていただきました。

職業選択は非常に重要な問題で、一日の労働時間を8時間とすると、一日の三分の一を仕事のために費やすこととなります。これが楽しいか辛いかで人生は大きく変わってきます。自分のやりたい仕事や好きな仕事であれば、多少給料が安くても辛くても耐えることができますが、給料が高くて

自分に合わない仕事が続いたり、劣悪な環境が続いたりすると耐えきれなくなります。仕事を選ぶ際に重要なのは、会社の規模ではなく、自分のやりたい仕事ができるかどうか、職場環境が自分にあっ

孫子に「敵を知り己を知れば百戦危うからず」という言葉があります。自分の適性や得意分野、短所などを自覚し、敵企業や大学がどのような環境で自分を迎えてくれるのか、自分はどこで何ができるのか(学べるのか)をしっかりリサーチして臨めば、職業選択や大学選択で大きな失敗をすることはないでしょう。このようなお話をさせていただきました。

最後に、社会が求めているのは、①人に命じられた事を忠実に実行できる人間と②自分で考えて行動できる人間の二種類です。前者は、いずれロボットにとって代わられる



広がりゆく数学の世界

JST数学キャラバン講師は全員上田高OB



8月20日（日）、上田高等学校同窓会館で、これからの世代に理数系の面白さを広く知ってもらうための「JST数学キャラバン」が開催された。『拡がりゆく数学』キャラバンは、高校生を対象に全国各地ですでに20回行われているが、21回目となる今回は長野県で初の開催。しかも講師全員が上田高校出身の研究者たちでの実現だった。JSTで研究チームの支援をし、キャラバ

かもしません。「大変そう」、「面倒くさそう」、「カッコ悪い」、「恥ずかしい」、「自分にはできそうにない」と思えること、それは自分が成長するチャンスです。後者になるために積極的にチャレンジして

てみてください。これを乗り越えた時、そこに新しい世界が開けますというお話をさせていただき母校を後にしました。

小林秀一 税理士事務所
税理士・行政書士

ンの事務局をしている高見沢一彦さん（69期）、関東同窓会副会長の原田義則さん（65期）の尽力で実現した。

【プログラム】滝沢研二さん（早稲田大学理工科学院准教授（95期））「ものづくりのためのコンピュータシミュレーション」、降籟大介さん（大阪大学サイバーメディアセンター准教授（84期））「電子回路を使わないコンピュータと自己複製機械—ライフゲームをもとに」、水藤寛さん（東北大学材料科学高等研究所教授（78期））「数学で人体を見る・視る・診る—コンピュータと数学」、土屋卓也さん（愛媛大学大学院理工学研究科教授（74期））「曲線の長さ、曲面の面積」ってどうやって定義する？—簡単なことなのに、答えがわ

かっっていない問題」

宇宙船からのパラシュートはどこへ降下するのか？あるいは、血管の中に動脈瘤ができたら血液はどう流れるのか？実験して調べるには、費用も時間もかかり、リスクも高すぎる。コンピュータ上でシミュレーションできるようにするために、数学が使われているのだという。このようなコンピュータと数学の関わりについての話や、さまざまな現象のモデル化に用いられるセル・オートマトンについて、また、論理的に考えることで導き出せる曲面の面積の出し方まで、数学の面白さと奥深さを紹介する内容。講義や質疑応答の中で大学生や大学院生を指導する立場から、高校数学と大学の数学の違い、専門分野の名称と実際に学ぶ内容についての言及もあった。

講師は数々の研究論文を発表している第一線の研究者たち。その講義は専門的な知識がなくても数学の魅力や数学が繋がっている世界の広さに気づかせてくれるものだった。出席者の多くは高校教師や塾の講師など現役高校生たちを指導する立場の方たち。参加者からは「今日の講義を受けて、大

学で何を学べるのか、今学んでいる数学が何につながっているのか

を生徒たちに伝えていきたい」などの感想が聞かれた。これだけ中身が濃くレベルの高い数学講演は、「スーパー・グローバル・ハイスクール（SGH）」の指定を受けた上田高校の生徒たちに聴いてほしかった、というのが率直な感想でもある。

内田邦子（78期）

神田美容外科形成外科医
院長・医学博士
佐野 進一（68期）
〒013-8540
011-334-0111

櫻田法律事務所
代表 櫻田 晋賢 様（68期）
代表 今井 亮 様（64期）
TEL: 0282-711111
〒028-0002 茨城県水戸市大宮1-1-1
Tel: 028-241-2482 Fax: 028-241-2488
E-mail: sakiyama@ata-lmusho.com

企業広告募集

●当社の企業広告「うえだ」は毎月発行され、地元企業・個人・市民のみなさまに
●当社の企業・個人・市民のみなさまに届くことにより、ご自身の企業・個人・市民のみなさまの
●当社の企業・個人・市民のみなさまに届くことにより、ご自身の企業・個人・市民のみなさまの
●当社の企業・個人・市民のみなさまに届くことにより、ご自身の企業・個人・市民のみなさまの



JAXA 宇宙センターなど見学 首都圏フィールドワーク 2年生 57人が学習

SGH



最先端の研究施設を見学する生徒たち

上田高校の2年生たちが昨年に引き続きスーパー・グローバル・ハイスクール(SGH)活動の一環として9月11日と12日の2日間にわたり、「首都圏フィールドワーク」で関東



柳沢正史教授と記念撮影する生徒たち

「環境・生命」グループ37人と引率教員2人(花岡先生、塩澤先生)は同日朝、上田を出発し、JAXA筑波宇宙センターのスペースドームを見学の後、午後は筑波大学を訪問し、筑波大学が世界に誇る国際統合睡眠医学研究機構の柳沢正史機構長(父君の故柳沢清史氏は戸倉出身で上田高校の44(4期)とそのグループ員による研究・キャリア紹介と生徒3人による課題研究プレゼンテーションと研究室見学がありま

この訪問は、一昨年から5年間の予定で文部科学省からの財務的支援を受けてスタートしたSGH事業の実施校として選ばれた上田高校(長野県では長野高校と上田高校のみ)のグローバルスタディーの一環として実施されたものです。

「環境・生命」グループ37人と引率教員2人(花岡先生、塩澤先生)は同日朝、上田を出発し、JAXA筑波宇宙センターのスペースドームを見学の後、午後は筑波大学を訪問し、筑波大学が世界に誇る国際統合睡眠医学研究機構の柳沢正史機構長(父君の故柳沢清史氏は戸倉出身で上田高校の44(4期)とそのグループ員による研究・キャリア紹介と生徒3人による課題研究プレゼンテーションと研究室見学がありま

午前はアドミッショントラックセンターの概要説明と学生選抜要綱の詳細な説明の後、福島での放射性物質汚染対策で活躍しているアイソトープ環境動態研究センターを訪問しました。午後は核融合発電の研究拠点であるプラズマ研究センターの巨大な装置を見学し、生徒達による環境・エネルギーの課題に対する調査研究プレゼンテーションがなされ、中嶋センター長をはじめとする教員達との質疑応答が交わされました。



国連大学で各国の教員たちと交流する生徒たち

全員参加型SGHプログラム(海外研修も実施)の企画・運営は素晴らしく、他の高校生に比べていかに恵まれた環境にいるかを十分認識して、大学選択を含めたキャリア選択に大いに活用してほしいところです。生徒たちによる課題研究プレゼンとその後の質疑応答を聴く限り、十分期待に

アドバイザーとして参加して

私は、9月に行われた上田高校2年生対象の首都圏フィールドワークに、大学生アドバイザーという立場で参加した。フィールドワークはいくつものコースに分かれており、私が参加した国際協力コースでは国際協力機構(JICA)本部や国連大学を訪れた。

一番驚かされたのは、後輩たちの

応えてくれるのではないかと感じました。SGH校なので上田高校を選ぶと言った生徒もいるとも聞き、「上田高校の今後は明るい」と感じました。

筑波大学特命教授
関東同窓会副会長

原田義則(65期)

全体を通して、後輩の成長ぶりに負けていけないというのが正直なところである。お互いに切磋琢磨することで、個の能力を上げ、さらには上田高校を盛り上げていけるのではないかと。私だけに限らず多くの先輩方とともに、母校と後輩の発展を支援していきたい。

筑波大学国際総合学類
遠山里菜(115期)

土曜開催 土曜講座

10月11日(土) 14時～16時
10月12日(日) 10時～12時
10月13日(月) 10時～12時
10月14日(火) 10時～12時
10月15日(水) 10時～12時



上田ゆかりの偉人

戦後出版界のパイオニア

理論社創業者 小宮山量平

深町 稔 (58期)

早船ちよ『キューポラのある街』、村山知義『忍びの者』、丹野兄妹『つづり方兄妹』など、懐かしく思い出す年配の同窓生は多いと思います。杉本栄一『近代経済学の解明』や『服部之総著作集』、『高群逸枝全集』などで勉強した人もいらつしやるでしょう。

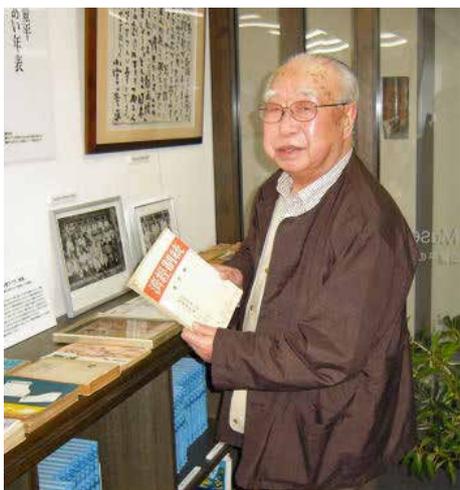
だなんて人も。みな小宮山量平氏が創業した出版社「理論社」の刊行物です。

小宮山氏は1916年(大正5年)上田市生塚の造り酒屋に生まれ、上田西小5年の時に世界恐慌のおおりで生家が傾き東京の叔父に引き取られます。第一銀行で渋沢敏三に仕え、夜間中学で学び社会運動にも参加、検挙の洗礼を受けます。東京商科大学(現「橋大学」)卒業後、短期の就職を経て軍隊へ。旭川で終戦を迎えました。

戦後は長姉が嫁いでいた上田駅前「若菜館」を拠点に「千曲文化クラブ」など文化活動を展開。

『宿題引き受け株式会社』、山中恒『赤毛のポチ』、斉藤隆介『ペロ出しチョンマ』など戦後児童文学の代表作群で楽しんだ人や、倉本聰『北の国から』をテレビと同時進行で読ん

47年(昭和22年)に東京で理論社を立ち上げ、季刊『理論』を創刊。杉本栄一、上原専禄、大熊信行らが執筆しています。以後武谷三男や平野義太郎らを迎え社会科学系出版に励む一方で、タカクラテル、林田茂雄、村上信彦、山田清三郎、早乙女勝元らの小説や評論も青年学生の大きな支持を得ました。ア



晩年の小宮山量平さん



小宮山さんの手掛けた本の数々

ジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国独立関係の著作をいち早く翻訳紹介したのも理論社でした。

60年ごろから創作児童文学の出版を開始します。前述作家のほかに、庄野英二、神沢利子、赤木由子、吉田とし、乙骨淑子など多くの作家が理論社をホームグラウンドとしました。

小宮山氏は創業時から80年代まで一貫して企画者・編集者の道を歩みました。A A選書、創作児童文学、少年詩集、シナリオ文学等々「売れない」とされていた分野に挑戦し、新たな出版市場を開いた開拓者でもありました。

また日本出版クラブの理事として「日本エディタースクール」の開校に尽力するなど、業界への貢献にも多大なものがありました。83年には『編集者とは何か』3部作を同スクール出版部から刊行しています。

90年代に入り活動の拠点を上田市に移し旺盛な執筆活動を開始、「週刊上田」紙への長期にわたった

連載は『昭和時代落穂拾い』『やさしさの行くえ』『20世紀人のこころ』3部作に結実しました。さらに自伝的小説『千曲川』4部作を理論社から発行、98年に『路傍の石文学賞特別賞』、2001年には信濃毎日新聞社「信毎賞」をそれぞれ受賞しました。12年4月上田市で永眠しました。95歳でした。

業績のすべては上田駅前「若菜館」ビル3階の「エディタース・ミュージアム」小宮山量平の編集室 〒386-0025上田市天神1-6-1 ☎0268-2510826で見ることが出来る。(料金300円、火曜休館)

◇深町稔(58期)

1965年から87年まで理論社勤務。88〜2007年、週刊上田新聞社編集長

JPE 産業用省力・専用機械の設計・製作
多種多様な業界に対応致します

〈当社の特長〉

1. 設計・製作・制御・設置までの一貫受注システム
2. 加工設備が豊富
3. 試作開発対応
4. 提案課題が豊富

株式会社 ジェー・ピー・イー
長野県上田市富士山宇洞ノ原2329-1
代表取締役社長 工藤 寛和(第87期卒)
TEL 0268-55-8801
URL <http://www.jpe2000.co.jp>

果物の種抜き機



あかし
「不登校」も成長の証。

「じぶんらしく、輝く。」
一人ひとりが持つ個性を大切に、
柔軟な教育スタイルときめ細かいサポートで
生徒を笑顔に導きます。

【4つのコース】

- ◆進学コース ◆マンガ・アニメコース
- ◆声優・タレントコース ◆ペパ・アニマルコース

＜新卒の合格実績＞
[国公立] 東京大・京大・東大 10校・国大 6校・中大 1校
東京工業大・東京外国大・新潟大・徳島大及び伊勢
[私立] 早稲田大・慶応大・上智大・滑川大(現トヨタ経済大) 10校
東海大(医)・東海大(医)・東洋理科大・国際基督教大・明治大
法政大・青山学院大・中央大・学習院大・北里大・順天堂大
多摩大・国産大・聖立音楽大学・びわこ大

東京都渋谷区代々木1-43-1
Tel. 03-3370-0711
<http://www.tokyo-cadokura-hokokai.co.jp>
理事長・学園長 荒井 裕樹 (64期)



「おくのほそ道」を「新解釈」

矢島渚男さん(51期)の新著で大きな反響

俳人として知られる矢島渚男(本

名・薫さん51期)が、推敲の跡を

読み解き書き上げた「新解釈『おく

のほそ道』(角川書店)を昨春出版

した。独自の視点から芭蕉のこころ

に迫った渾身の著で、全国紙や有力

俳句誌などに特集されるなど広く反

響を呼んでいる。

矢島さんは上田松尾高校から都立

九段高校を経て東大文学部を卒業。

大学時代から句作を始め、石田波郷

波郷没後は加藤楸邨に師事した。こ

の間社会科の教師として母校でも教

壇に立った。現在も俳誌「梟」を主

宰、読売新聞俳壇選者としても活躍

している。五〇代半ばに、「古池や」

の句について新解釈を試みてから芭

蕉の研究を深めてきた。

日本を代表する「おくのほそ道」

は2006年に世に出た「野坡本

(やばほん)」により、一般に読まれ

てきた「曾良本」のほかに初稿とそ

れを芭蕉が貼り紙をして筆を入れた

改訂稿とがあることが明らかになっ

たが、「新解釈『おくのほそ道』は、

この三つのテキストを丹念に読み、

そこから芭蕉の書き換えの真意を浮

かび上げらせ

た。

わび・さびの

ほかに、滑稽や

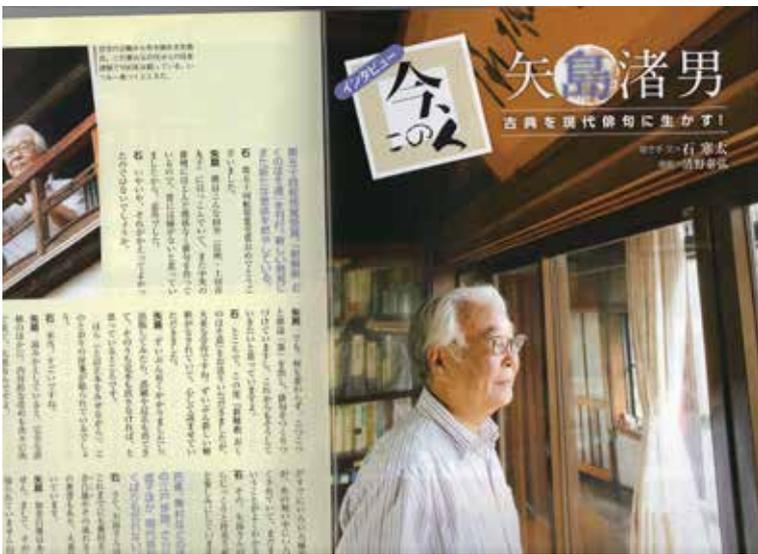
人情に通じた面

と、あくなき推

敲を重ねる芭蕉



矢島さんの書いた「新解釈『おくのほそ道』」



新著を俳句専門誌が大きく特集した



新解釈を取り上げた日本経済新聞の文化欄

の姿に尊敬の念を込めて紹介。「夏草や兵共が夢の跡」には、「兵共が」に武士どもがと対象を軽蔑する意味を込めて、身分制を中心とする社会の仕組みに対する疑問、批判の精神を指摘した。

「俳句・9月号」(角川学芸出版)、「俳句があるふあ10・11月号」(毎日新聞社)、「日本経済新聞文化欄」(8月5日付)「俳聖芭蕉 深掘り」で推敲の跡をたどり、ユーモアや「身分も性別さえも差別のない」俳諧の「理想と世界を見出していた」との視点に注目を集めた。

矢島さんは「多くは5回も重ねた推敲の跡から『おくのほそ道』が苦心して出来上がったものだった」と指摘しつつ、自著について「まだ推敲の余地がある」と謙虚に語り、芭蕉のこころを追い求めることに変わらぬ意欲をみせる。

本村龍生

東京協立 法律事務所

弁護士 林 千春 (67期)

東京都港区西新橋 1丁目 24番 16号

平和ビル 3階 (〒105-0003)

TEL 03-3580-8144

FAX 03-3591-7956

新千代田総合法律事務所

日本弁護士連合会前会長

弁護士 村越 進 (67期)

東京都千代田区神田神保町 2丁目 3番 1号

岩波書店アネックス 8階 〒101-0051

電話 03-3239-5360 Fax 03-3239-5361

http://www.shin-chiyoda.jp/

手織り、製織、染色、藍染 工房

イサカ精美堂

猪坂 周一 (67期)

伊勢崎市富田町 266-1

TEL 0270-25-0020

FAX 0270-25-0509



やまびこ句会 55回の例会

97歳の模範的な作品励みに

やまびこ句会は今年10月句会で通算55回になりました。原則、毎月1回開催しており、5年近く続いたこととなります。

私も初回からほぼ毎回参加してきました。いまだに句作が上達しませんでした。しかし俳句のおもしろさが若干ではあるが理解できるようになりました。

やまびこ句会（4月～9月）

- （一江） 秋天に雲あり塔の九輪あり
- （清助） 灯を消して沢音しかと避暑の宿
- （奉男） 赤黒き皮のりんごや「秋映」ぞ
- （正佳） 熱気沸く尾張名古屋の夏相撲
- （貴美） 三ノ輪駅薔薇の中より都電出づ
- （太郎） 初夏の庭色鉛筆の箱のやう
- （隆治） 白秋の生家の庭や柳散る
- （正雄） 夏舞台翁の足袋の白さかな
- （平六） 高台を風吹き抜けて蝉の声
- （前歩） 枳殻の花散る郵の小径かな
- （孝昭） 万緑の気を取り込みて太極拳
- （芙紗） 夏泊雲疾く流れ芒揺れ
- （由美） 亡き友を偲びて汲みし風の盆

を自分の感性で捕え、一つの句にすることです。

句会ではそれらを清記し、作者を伏せて批評、議論します。最後に作者の意図を聞くと全く異なることが多々あります。このように17文字に表現されない内容を憶測することも醍醐味です。自分では最高の出来と思う句が全く評価されないこともあります。

それでも続けられるのは、旅行した時、散歩の時よりも、日常生活の中でも俳句の材料になりそうな場面、現象を探していることが一つの張り合いになっていることも確かであると思います。

句会には97歳の大先輩の岡清助さんがおられ、模範的な句を作ってこられます。これからは頑張ろう。

お問い合わせは
吉池貴美(62期)
事務局 小山平六(62期)
070-2685-2384

書道人「書の達人養成塾」
主宰 小宮山雪陽(定治) 70期
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-34-1 サンフジビル5F

IT技術者募集中
システム技研株式会社
代表取締役 清水 通男 (66期)
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-34-1 サンフジビル5F
TEL (03)5272-8830 FAX (03)5272-8836
URL <http://www.s-giken.com>

赤松小三郎研究会 〈会員募集中〉
関東同窓会の同好会で、偶数月の第三火曜日
18:30~20:30 に例会開催中！！
もはや赤松小三郎を語らずして
幕末・明治維新を語ることはできない！
<会長> 丸山瑛一(51期)
<連絡先> 研究会事務局 荻原貴(79期) 090-3517-9011
事務局長 小山平六(62期) kannazuki-6318@kxb.biglobe.ne.jp

eclat 税理士法人 エクラコンサルティング株式会社 エクラコンサルティング
資産税プロ集団 お客様の事業承継を成功へ導く
代表社員 税理士 田中 誠 (72期)
〒102-0094 千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート8階
TEL: 03-6866-8800 FAX: 03-6866-8801
<http://www.eclat-c.com/>

日本に新たな企業支援のシステムを構築する
日本初の株式投資型クラウドファンディングサービス
FUNDINNO
株式会社日本クラウドキャピタル
第一種少額電子募集取扱業者 関東財務局長(金商)第2957号
加入協会: 日本証券業協会
東京都品川区東五反田5-25-18 (03-6721-6691)
info@cloud-capital.co.jp
<http://www.cloud-capital.co.jp>
CEO 柴原 裕喜
COO 大浦 学
顧問 尾台 幸男(68期)

寺島元館長(67期)が講演

106人参加し史料読む

赤松小三郎研究会

赤松小三郎研究会は9月10日、

文京区民センターにて歴史研究家で元上田市立博物館長の寺島隆史さんによる講演会を開いた。参加者は106人(同窓生70人、一般36人)で大盛況であった。

〈寺島さんの講演要旨(一部)〉

1. 初めに

・史料「京阪御用状往復留」(けいはんごようじょうおうふくどめ)とは、上田藩が作成し国元と京都の藩邸が交わした書状などの写しを冊子にしたもの。上田市立博物館所蔵でこれまでの研究でほとんど扱われなかった古文書。同史料の慶応3年(1867年)6月から赤松小三郎が暗殺される同年9月までを読み解くことによつて、小三郎と上田藩の関係及び小三郎暗殺の背景を探ることができる。



講演する寺島さん

2. 会津藩との関係

(1) 少なくとも慶応3年6月の時点で小三郎は薩摩藩の他に会津藩にも軍事訓練を行っていたことがわかる

(2) 会津藩が小三郎の京都滞在を望んだ一番の狙いは、小三郎を通じて薩摩藩の内情を探ることであつたことがわかる

・幕府からの小三郎の開成所教官採用申し入れに対し、上田藩は「小三郎は上田藩に必要な人物である」ことを理由に断り(慶応2年12月)、小三郎に再三の帰国命令を出していた。これに対し、会津藩は京都上田藩邸を通じて小三郎を帰国させないよう申し入れていた。その理由として、

①会津藩は引き続き小三郎から軍事訓練をお願いしたい。
②小三郎は薩摩藩にも軍事訓練等を行つているが、最近薩摩藩に不穏な動きがあり小三郎に薩摩藩の動向探索をしてほしい、それが徳川家及び上田藩の為になる、としている。

(3) 小三郎が(暗殺直前の)帰国に



会場では100人を超す参加者が熱心な質疑を交わした

応じた経緯がわかる

・上田藩は、会津藩からの申し出に応じる形で、京都上田藩留守居代の赤座が同年9月1日に小三郎に帰国を申し達した。

それに対し小三郎は重陽の節句(菊の節句)の9月9日前に出立すると赤座に申し出た。このように会津藩からの口添えもあり、それまで帰国を拒否していた小三郎としてはこの帰国は決して「上田藩からの厳命に屈したものだ」ではなかった。

3. 小三郎の暗殺、そして薩摩藩との関係

(1) 薩摩藩が同藩内での小三郎の立

場を「上田藩から借入れ中」と強調していることの真意とは：

・慶応3年9月14日付の赤座からの御用状で、9月8日付使者東條慶二を通じて薩摩藩主島津茂久から上田藩主宛てに手控(手紙)を受け取った記載がある。そこで薩摩藩は、赤松小三郎を「借入れ中」、つまり家来に準ずる者として認識していたことを強調している。

このことによつて暗殺直後の薩摩藩の不可解な行動『遺骸を運ぶ駕籠の手配や一旦遺骸を旅宿まで運んだうえで上田藩邸に運ぶと主張、薩摩藩主名での多額(百両)の見舞金の差出し、小三郎の荷物を(勝手に)薩摩藩側で荷作りして(おそらく薩摩藩にとって都合なもの処分して)運送料(5両)まで負担して国元へ送付、等』は一応説明が付くが、逆に、段取りの手際の良さ、そのの無さからみても、小三郎暗殺は在京の薩摩藩上層部も了承のうえで、の犯行に違いないとみられる。

(2) 薩摩藩国父・島津久光は小三郎暗殺を了解していた
・今回は資料としては用意していないが、元薩摩藩士が明治

信州ハム株式会社

信州上田の地で製品を作り続けています



安心にまっすぐ



信州ハム株式会社 信州上田市下塩原950
TEL 0268-20-9150 FAX 0268-20-8011

中期に茂久(忠義)に関わる史料を集めた「忠義公史料」にある「中将公久光、御出立前夜(赤松を)打果候ヨシ」の記述がある。今回の往復留の記述を合わせて、素直に読めば、久光が小三郎暗殺を了解していた、と解釈できる。

荻原 貴(79期)

赤松小三郎研究会の活動報告

赤松小三郎研究会は2013年8月発足以来偶数月の第3火曜日に集まり毎回十数名の参加者が自発的に赤松小三郎に関連



するテーマを決めて発表しています。(詳細は関東同窓会ホームページの「赤松小三郎研究会」をご覧ください)

○第23回(2017.4.18)

①石川浩さんによる「小三郎が江戸で滞在した場所」について、江戸の古地図を基に石川さんが小三郎と関係ある場所を实地調査した報告②丸山瑛一さん(51期)による「科学技術の歴史と日本の役割」についてパワーポイント資料発表

○第24回(2017.6.20)

①石川浩さんによる「東京大学の史料編纂所データに収録されている名称『赤松小三郎傳』の検証結果」の報告②沓掛忠さん(61期)が「明治初期の脚気病に対する陸軍・海軍の対処の相違点とその過程における東京慈恵会医科大学の誕生」について発表③同氏による「明治初期の日本の医学を『イギリス医学とドイツ医学』のどちらを採用するか」という政府の大きな問題」についての発表

○第25回(2017.10.17)資料

1「京阪御用状往復留」(寺島隆史氏講演資料)から分かったこと・滝澤進さん(61期)作成
2第24回赤松小三郎研究会報告

書「荻原貴さん(79期)作成

3故宮原安春氏(58期)からの図書のご寄贈について事務局作成

4舎人倶楽部20号、地域研究レポート「赤松小三郎と憲法構想」(滝澤進さん寄稿)

5忠固公を語る講演会&トークセッション(明倫会) 関良基さん(86期)基調講演

6上田博物館企画展「赤松小三郎」(幕末の先覚者)チラシ

7「回覧」白井亜希さんより雑誌「千曲」56号が回覧された。尾崎行也氏の論考「慶応三年九月赤松小三郎横死」が掲載さ

れている。

主な報告、討論は次の通り。

憲政記念館で上田市立博物館企画展「赤松小三郎」幕末の先覚者」のポスターを展示し、チラシを置いていただくことになった。2階展示室で特別企画展示「幕末明治からのメッセージ―激動の時代を彩った人々―」シリーズIVが総集編として企画。

滝澤進さんが、寺島隆史さんの講演をベースに内容を精査し丁寧

にまとめた「京阪御用状往復留」から分かったことを報告。

最終的には実質的なトップである

「心の柱 試百難」

藤本28代校長が松尾倶楽部で講演



講演する藤本光世28代校長

松尾倶楽部は9月30日(土)に上田高校第28代校長の藤本光世氏の講演会を開催し、50人が参加した。生徒の健全な心の育成と学力の向上に傾注された藤本元校長に背景などをお話いただいた。

「我に至剛の誇りあり いざ百難に試みむ」
スクールアイデンティティを「試百難」とし、校長としての学校の経営方針を立てた。着任あिसつで生徒たちは全員が顔を見て聞いてくれた。優秀な先生方が多

2006年4月、松本深志高校から校長として着任。「どのような学校だろうか」との思いから、歴任した各校の校歌の内容を確認してみた。

「学校を美しく……美しい心」
学校に限らずトイレが汚いといういろんな面で乱れることが多い。上田高校でも手始めにトイレ掃除からスタートした。

簡単にやってくるわけではない。自ら朝一番に学校に行って、モップ掛け、ごみ拾いから始めた。生徒も加わり、ごみを拾い履物を整えたりするのが当たり前のようになった。

精神がしっかりすれば学力向上につながる。松尾祭を全力で取り

る久光の命で殺すことで、武力行使によるクーデターへ向けての薩摩の覚悟の程を長州にしめそうとした側面もあるのではないかと、赤松小三郎はその犠牲になった、とも言えるのではないかと。(寺島さんコメント)

討論・意見表明では、小三郎暗殺に久光が関与していたかどうかについて賛否両論が述べられた。NHKの歴史番組の製作会社ディレクターも特別参加した。(赤松小三郎研究会事務局)

「心の柱 試百難」
古城の門をくぐるとことは試百難に入るとのこと。試百難は苦に向かっていくこと。自身、着任した年に発生した未履修科目問題に試百難の心も対応した。先生方や生徒たちの全面的な協力のおかげもあつて無事乗り切れた、と講演された。

終了後に近くの居酒屋で懇親会を開催。藤本先生を囲んで30人近くで大いに盛り上がった。最後は宮島光男幹事(55期)の指揮で校歌斉唱。「試百難」を感じお開きとなった。

松尾倶楽部副代表幹事 笠井徳爾(61期)



真田丸関西一泊二日の旅

65期「蕨の会」8人が参加

65期有志による埼玉県の名所・旧跡を探訪する「蕨の会」は、大河ドラマ「真田丸」の余韻がまだ残っている2017年春に関西一泊二日の旅を実施しようとしてきた。

思えばこの会も12年11月に、埼玉県JR蕨駅（会名称の由来）前の居酒屋にて同期5人で立ち上げて現在会員は16人。今回は15年の群馬県富岡製糸工場以来の県外ツアーで、スタートから数え記念すべき10回目となった。

5月16日関東の同期7人は、新大阪駅でツアーコンダクターをお願いした関西在住の山岸敏夫君と合流、最初の目的地大阪城へと向かった。豊臣の栄華に思いを巡らせながら、三光神社と玉造稲荷神社を訪れ、さらに真田丸の跡地を目指してひたすら歩く。心眼寺それから真田丸顕彰碑前で記念写真を撮った。そして幸



九度山の真田ミュージアムにて

今回は関西の真田家ゆかりの地を巡る旅であったが、今でもこれらの場所に六文銭が見られることに感無量の思いがした。
「蕨の会」会長・成澤文和（65期）

村公終焉の地安居神社に到着。夜は同期大阪組の3人と合流し計10人にて懇親会を開催、高校時代の思い出話等で楽しいひと時を過ごすことができた。

2日目は一路高野山へ。最初の目的地蓮華定院に到着。院の前には六文銭の門灯が掲げられており、宿坊の隣にある真田信之・信政親子の墓所でお参り後、バスで奥の院へ移動した。入り口から弘法大師御廟までの2kmの石畳の参道両側に並ぶ有力大名の墓所に圧倒された。さらに総本山金剛峯寺では多くの部屋を巡り、新別殿広間で接待のお茶と菓子を手土産に楽しんだ。

そして最終目的地の九度山へと向かった。真田庵に近接する真田ミュージアムでは副館長に館内を案内してもらい、真田一族の歴史のおさらいをして九度山を後にした。

北国街道の旅（第2報）

大屋駅から柏原宿へ

6月3日大屋駅から歩く。大屋神社には日本海海戦の翌年、東郷元帥が千曲川で舟遊びをした時の小舟が掛けられている。神川橋を渡り、国分尼寺跡の近くに移動している上田宿本陣（柳澤家）の主屋を見学。

信大織維字部の先が上田宿入り口。科野大宮社の前を通り、横町、海野町、原町、柳町へ。柳町は古い商家が残り、街道の雰囲気を感じている。紺屋町、西脇を過ぎて新町地区で街道は右折して矢出沢川に架かる橋を渡る。この角にある丸山邸の石垣は、維新後上田城から移築したもの。ここから戻って、芳泉寺、上田城跡を見学して、上田高校近くの旅館で宿泊。翌日、丸山邸の先を右折して秋和の里、蚕



上田高校も訪れ正門の前で記念撮影

種の里・塩尻へ。清水家には加賀藩の厠が残る。殿様はここで休憩して、無事に岩鼻の難所を越えたことを伝える文を出したとのこと。岩鼻の険を見上げて通り、鼠宿へ。

次の坂本宿は中之条陣屋跡、村上義清供養塔、ふるさと歴史館になっている旧本陣を見学。上戸倉宿を経て下戸倉宿へ。国道が通ったため、本陣は立派な石灯籠が残るのみ。第3回は9月9日、戸倉駅から歩く。千曲川の洪水地帯で、元禄年間に築かれた堤防の一部が残る。屋代駅の先に、明治の洋風小学校、屋代学校の校舎が保存されている。篠ノ井橋を渡って対岸の軻良根古神社・矢代の渡し跡へ。篠ノ井で泊り、翌日、丹波島宿を経て善光寺宿へ。善光寺に参拝してから、旧家が残る街道を歩いて新町宿の入り口まで。



長野では善光寺にお参り

第4回は10月28日、新町宿から牟礼に向かつて歩く。リンゴ畑の中のゆるやかな上り道。江戸へ奉公に出る一茶を、父親が送って来たという「三本松」から牟礼駅まではゆるやかな下り道。宿泊のため長野駅に戻り、翌日、電車で牟礼駅へ。牟礼宿には、本卯建が上がる鎌問屋の旧家が残る。佐渡から運んできた金を積み替えた金附場跡、武州加州道中堺の碑を過ぎると、碓氷峠に次ぐ難所といわれた小玉坂を上る。

落影集落を過ぎると古間宿。鳥居川を渡ると柏原宿。一茶の旧宅、村の鍛冶屋・中村家住宅、一茶記念館など見所が多い。

清水計枝（64期）

を 会 社

は 登 壇 会 員

五 東 提 六 関 店

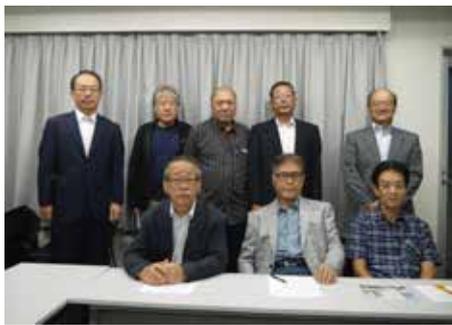
六 五 会

●六五会は65期有志からなる親睦会です。
●毎月21日夜、上田市内で開催しています。
六五会事務局：〒387-0801 群馬県上田市
E-mail: ichiro@pc.ll.ueda.ac.jp



絵画同好会が正式発足

3月に京橋で展覧会



正式発足した絵画同好会のメンバーたち

9月28日、都内内神田において「絵画同好会(会長・依田欣五郎(62期))の発足会が開催されました。参加者は、会員9人のほか、上原昇同窓会会長がお越しくださり、総勢10人となって盛大に行うことが出来ました。発足会では、今後の活動として次の事項を確認しました。

一、年1回以上の展覧会の開催と、会員揃っての美術館等での絵画鑑賞。

2月25日に「女性同窓生の会」

菅沼恵子さん(66期)が語る

「源氏物語の色彩について」

今年も「女性同窓生の会」を開催します。皆さまのご参加をお待ちしています。

今回は、昭和学院短期大学学長の菅沼恵子さん(66期)に「源氏物語の色彩について」お話ししていただきます。

前回の友家しづさんによる「源氏語り」とは異なるアプローチで「源氏物語」の世界をお楽しみいただけます。その後、会食と懇談です。

日時：2018年2月25日(日) 11:30～15:30
場所：神楽坂、日本出版クラブ 会館

詳細は、1月20日ごろHPに掲載し、各人にメールでお知らせいたします。
問い合わせは、池田有美子(69期) xyx@nub.biglobe.ne.jp まで。



和やかに談笑する理科系班OBたち

理科系班OB会開く

初参加2人含め11人が懇親

上田高校理科系班OB会が8月27日(日)午後5時から秋葉原の「えん」で開かれ11人が参加しました。毎回参加されている清水周先生(47期)が欠席されましたが、坂本壮一郎さん(58期)と窪田実さん(64期)が初めて参加されました。

恒例のミニ講演会は原田義則さん(65期)が「健康モニタリングに關連する最近の話題」と題して、超高齢化社会の到来、在宅医療の一般化、健康寿命への関心の高まり等の社会の動きに沿うように、いつでも、どこでも、誰でも、痛み無しで、健康状態をモニタリングできる装置の開発が進んでいると報告されました。

OB会は毎年8月の最終土、日

66期エリス同好会
同好会専集中
代表幹事 布浦修一郎
副幹事 廣治

曜日開催していますが、今回は9月の開催も検討したいとの提案がありました。高校時代には理科系班に在籍していなくても理系の仕事をされていた方、理科系班出身でも日銀に就職された方もおり、実に様々な経歴をお持ちの方も多く、世代や業種を越えた新しいヒューマンネットワークの構築が可能かもしれません。女性同窓生の参加を歓迎します。是非、同期や身近の同窓の方々とお誘い合せの上でご参加ください。

ゴルフ同好会に参加しませんか!
毎年、春と秋にゴルフコンペを開催
母校の先輩・後輩との新しい交流が生まれます
次回コンペは4月9日(月) 船橋カントリー倶楽部
新規参加者 大歓迎 ぜひご連絡ください
【ゴルフ同好会幹事代表】 古畑克巳(69期)
TEL 090-6042-0566 cpafuruh@tky3web.ne.jp

「ギターマンドリン」音色がつなぐ絆

初のクラブ同窓会に40人

11月11日、上田市ささやにて同窓会が開かれました。昭和39年（1964年）から平成10年（2008年）まで続いた間に260余人が在籍、関東同窓会でも『ギタマンド』だったとのお声をよく聞きます。

当日は、創設時メンバーの64期辻佐知子さんから91期まで40人が参加。ミニミニマンドリンコンサート・記念撮影後、食事をしながら世代を越えて歓談の輪が広がりました。

コンサートは有志14人で、「真珠

部員を探して下さった金井正広さん

演奏後「クラブは無くなくても伝統は生きている」と言っていたいただき、頑張って練習した甲斐がありました。又次は是非合奏に参加したいとの声も多く、次回が期待されます。

現存名簿から電話してその前後の

（69期）はじめ幹事のみな

さま、ありがとうございました。

なおフェイスブックに非公開のグループ『上田高校ギターマンドリンクラブ同窓会』があります。OB・OGのみなさま、フェイスブックで探して参加申請いただければ幸いです。そして次の機会にはより多くの方たちにお会いできることを楽しみにしております。

青沼 泉(72期)

10月1日(日)、上田文化会館にて「第3回吹奏楽を楽しむ会」が行われた。この会は、吹奏楽団のOB・OG会「松奏会(しょうそうかい)」が開催しているOB・OG演奏会である。2014年から毎年行っている。今回は、65期から115期までのOB・OG36人と、現役吹奏楽団の12年生48人が出演した。指揮者には、松奏会会長で元NHK交響楽団の百瀬和紀さん(58期)、元吹奏楽団顧問の長谷川和生さん(64期)と名誉会員の山岸明さんを迎えた。

この日集ったOB・OGは、現在も楽器演奏を日課とする人もいれば、久しぶりに楽器を手にした人、プロの打楽器奏者として活躍するOB(85期)の萩原松美さん、99期の窪田健志さん)まで、様々である。私は東京から参加したが、他にも多数の関東在住者や、遠方から(遠くは九州から)駆けつけた人もいた。演奏会は3部構成で、OB・OGの演奏、現役生の演奏、OB・OGと現役生の合同演奏が繰り広げられた。現役生と山岸さんのコラボレーション、現役生と窪田さんとの共演など、OB・OG会ならではの企画も取り入れられた。



現役の生徒も加わり大編成で行われた吹奏楽を楽しむ会

中山 結(109期)

造園家・彫刻家 小林賢二 (80期)

Landscape + Garden + Public Art + Pottery
KOBAYASHI KENJI ATELIER

<http://kobayashi-atelier.com>

土屋法律事務所

東京都港区虎ノ門1丁目1番15号
三田ビル3階 (〒105-0001)
TEL 03-3580-8588
FAX 03-3539-7057

弁護士 土屋耕太郎 (68期)



よく学び、伸びを実感

北志賀高原で学習合宿

1年生

1学年は10月17日から3日間、北志賀高原で学習合宿を行いました。生徒317人、教員13人の計330人が参加し、脳に良い汗をかいてきました。合宿中は、進路講演会、小論文テスト、英数国のテスト、希望者補習も行われました。

自学自習を中心に行われた学習タイムでは、ほとんどの生徒があきらめることなく、夜10時過ぎまで眠い目をこすりながら机に向かっていました。質問コーナーも充実で英語3人、数学4人、国語3人、合計10人の先生が常

駐し生徒たちの様々な質問に対応しました。

お楽しみイベントはいつさい盛り込まずひたすらテストと勉強の3日間となりました。ただし食事だけは、無理を言いつつ夕食はバイキング、昼食の牛丼とカレーは、おかわり自由にしてもらいました。この時間ばかりはみんな満面の笑みを浮かべてご飯をほおばっていました。

この合宿を通して、苦手教科に自信がつく生徒や得意教科に磨きがかかったという人も多かったのですが、今ま



勉強漬けも成果が実感された1年生が学習合宿

でこれほど長時間、机に向かった経験がない生徒もいて、勉強したという達成感や自分の可能性に気づいた一など、様々な声が上がりました。職員も生徒の集中力に驚いたり、素朴な質問に気づかされたりすることも多く、生徒と共に新しい発見や進展が

感じられる3日間となりました。1学年担当 土屋 稔

カンボジアへ井戸贈る企画

県内と首都圏で校外学習

2年生

2年生になり、7カ月が過ぎ、これまで様々な取り組みをしてきています。5月に実施した県内フィールドワークでは、生徒が8コース別に分かれ、各訪問先の方々の協力のもと、多岐にわたる知識を深めることができました。

上田高校 NOW

6月の松尾祭では、松尾祭を来年は中心となり計画、実行する立場になるため、その立場を意識した取り組みをしました。カンボジアへ井戸を贈る2年生企画

画「井戸プロジェクト2017」は、校内外の多くの方々の協力により、成果を取ることができました。しかし、企画を完了する井戸掘りまでには、さらに多くの方々の協力をお願いしなければなりません。

9月には首都圏で、各地区で活躍されている同窓会の方々の協力を得て、課題研究を大きく進展させることができました。

後期には、最大の行事である台湾への研修旅行、3月には2年生全員による課題研究の発表会と、大きな行事が予定されています。学習面で



2年生の首都圏フィールドワーク学習では国連大学など国際体験も

支援・ご協力もお願い致します。2学年担当 竹内光礼

は、全国の2年生は、受験を意識した生活をしていきます。他と歩調を合わせ、本校でも学習面、班活面、行事面等をより一層充実させ、3年につながる活動をしなければなりません。同窓会の方々には、今後とも生徒の活動を見守って頂くとともに、ご

ようやくエンジン

黙々と受験勉強

3年生

SGHの指定を受けて活動が始まった最初の学年の116期生も遅ればせながらようやくこれぞ受験生という雰囲気が出てきました。

この頃の朝夕は、学習室で黙々と受験勉強に励む生徒の姿が非常に多くなってきました。学習室だけではなくHR教室などに学習の場を見つけてやっている生徒もいます。研究室に顔を出せば、各教科の教員に添削指導を受けている生徒の姿が目に入ってきます。

毎年恒例の風景とはいえ、頑張っているなと感心する一方でなんとなく祈るような気持ちにもなります。

9月29日には、大学入試センター試験の志願票を提出しました。本年度の出願者数は全日制313、定時制2の315人です。全日制の出願率は98%になります。

例年この時期から生徒は集中力も高まり大きく伸びていきます。SGHで養った力も様々な形で生徒を支えてくれるだろうと思います。12月の特編授業が始まるとあっと言う間にセンター試験になってしまいますが、生徒たちには、元気にこの期間を乗り越えてほしいと思っています。

3学年の担任団も生徒の力を信じて、それぞれの生徒の進路目標の実現に向けて精一杯サポートしていきます。

たいと考えています。来春には例年と同じように卒業生が新会員としてお世話になります。よろしくお願いたします。3学年主任 西嶋 力

(診療科目)一般歯科 矯正歯科 小児歯科

はせがわ歯科矯正歯科

院長 長谷川 剛 (80期)

埼玉県戸田市川岸 2-5-26
埼玉県戸田公園駅 徒歩8分
TEL 048-445-0080
<http://www.hasegawa-dental.com>

人形デザイン制作
はっとりみどり



上田高校 NOW

第60回松尾祭テーマは

「我樂しむ故に我あり」

今年度私達が目指した文化祭は、全校生徒が自発的に自分なりの松尾祭を創り上げること。そこで第60回松尾祭のテーマを「我樂しむ故に我あり」としました。全員が好きになれる文化祭、一人一人の記憶に残る文化祭を目標に、全校で奮闘しました。毎年ご好評をいただいている文化祭の各展示・公演や定時制の屋台はもちろんのこと、鑑賞型の企画だけ



恒例の巨大立看板



今年の松尾祭のテーマは「我樂しむ故に我あり」



人気を集めた野点

でなく、参加型の企画にも力を入れました。来校してくださった全ての方に楽しんでいただけるよう、上田高校ならではのおもてなし要素を取り入れました。見所はお化け屋敷のバージョンアップ、射的や松尾チャレンジなどのブースの導入です。上田高校の生徒と交流することで、私達のエネルギーを感じ取っていただ

たら幸いです。今年度の一般公開1日目は大雨になってしまい、想定外の出来事が沢山起きました。野外ステージで行うはずだった企画の場所の手配、雨水の対処など、実際に経験しなければ気付けなかつた点が多くありました。しかし、そんな中でも生徒同士の情報の共有や協力、先生方や来場者の皆様のご配慮により、何とか無事に一般公開を行うことができました。支えてくださった皆様への感謝の気持ちで一杯です。来年度の松尾祭も成功につながるよう、引き継いでいきたいと思います。これからも見守って応援してください。

松尾祭実行委員長
中澤綾乃(3年)

当たり前を疑い行動する

生徒会長 尾和大智(2年)

この度、生徒会長になりました尾和大智です。今回の生徒会選挙では私を含め2人の立候補者が出て、私が当選しました。私は上田高校に新しい風を吹かせたいと考えています。突然ですが、皆さんはクリストファー・ノーラン監督の作品「バットマン ビギンズ」という映画をご存

じですか？クリストファー・ノーラン監督は最近だと「ダンケルク」を制作し、世界で最も新作を期待されている監督ともいわれています。さて、「バットマン ビギンズ」の中でこのようなセリフがあります。「人の本性は行動で決まる」グローバル化が進んだこの世界は

目にも止まらぬ速さで変化し続けています。働き方、生き方が多様化しているこの時代、今まで当たり前だと考えられていたことが当たり前でなくなつてきています。この時代を生きていく我々に必要なのは当たり前を疑い、行動することです。きっと、皆さん上田高校OBの方からすれば非常識なことをするでしょう。しかしそれは上田高校をよくするために進むべきことです。最後に私が大切にしている言葉を

司法書士事務所
リーガルオフィス白金
司法書士 飯田 茂幸 (00) 穂
〒107-0072 東京都港区白金1-25-13
TEL 03-6827-7134
FAX 03-6827-1060

アクト法律事務所

〒107-0052 東京都港区赤坂3丁目9番18号 赤坂見附 KITAYAMA ビル3階
TEL: 03-5570-5671 (代表) FAX: 03-5570-5674
【最寄りの交通機関】 地下鉄銀座線・丸の内線 赤坂見附駅下車徒歩1分

弁護士(所長)	岩井 重一(62期)
弁護士	安田 隆彦
弁護士	平澤 慎一
弁護士	波戸 岡光太
弁護士	黒澤 真志也
社会保険労務士	岩井 信也



7年ぶり県大会出場

演劇班少数で頑張る

演劇班は、今年度の東信地区合同発表会において、7年ぶりに県大会出場の切符を手に入れることができました。

上田高校 NOW

演劇班では毎年、松尾祭終了と同時に三年の先輩方が引退されます。それによって現在は班員数が二年生4人、一年生1人、うち兼班している者が3人という、「がけつぷち」の班活と名高い状況を呈していましたが、そんななかでこうした機会を頂けたというのは私



県大会での舞台

顧問の先生には「劇団ふたり」という若干不本意な名前を頂戴してしまったり、練習場所の確保が難しい時期には中庭で練習したりと、大変なこともありましたが、ありがとうございました。しかし今思えば、そんな厳しい

状況下ながらも、人数が少ない演劇班の演出を考えたり、切磋琢磨し合い演技を向上させたり、自分たちらしく最大限楽しめたいように思います。

ここまでやってこれたのも、先輩方と積んだ経験や、顧問の先生方の御協力、また、兼班しながらも演劇班に協力してきてくれた3人の存在があつてこそでした。感謝してもしきれません。

まだこの先の演劇班がどうなっていくのか、まさに暗中模索の状態ではありますが、まず目前に迫った県大会でベストを尽くし、私たちが新しい劇を発表したいです。少ない班員同士支え合いつつ、さらに精進していきたいと思っています。

班長 渡辺咲野

考える力と実行する力をつける

陸上部

昨シーズン初めてインターハイに出場し、全国レベルを肌で感じる事ができました。その後もU18日本選手権や全国合宿に参加してたくさん経験や積み、心身ともに成長できたと思います。



陸上部の部員たち

しかし、全国入賞を目標にできた今年度は自己ベストを更新することもできず、いきなりインターハイ予選敗退で引退しました。頑張ってきた分悔しい思いは大きいですが、それ以上に多くの物をこの3年間で得ることができました。この経験をこれからたくさん生かしていきたいです。

上田高校陸上部は、自分たちでメニューを立てお互いに指導しあう、という顧問の木村先生の方針のもと、考える力と実行する力がついてきたと思います。その結果、たくさん種目が県や北信越でトップレベルです。勉強もおろそかにせず、練習を重ねてさらに強くなった後輩たちの活躍に期待しています。三年間ありがとうございました。

陸上三年 須崎修二

絶景とファンタジーの国から

アイルランド公認ガイド 山下直子さん(88期)

アイルランド在住17年、回国政府公



トークショーでの山下直子さん(左から2人目)

認ツアーガイドの山下直子さん(88期)が、10月9日に、東京・浅草で開かれた観光フェア「秋のケルト市」(MUSIC PLANT主催、在日アイルランド大使館後援)に招かれ、自著の「絶景とファンタジーの島アイルランドへ」(イカロス出版、A5判176ページ)を紹介した大西洋の島国の魅力を語るトークショーとサイン会を行った。

山下さんは早稲田大学卒業後に、旅行会社に就職、添乗員を経て2000年にアイルランドに移住し、同国の公

認ガイドの資格を取得してツアーや個人観光の案内をしたり、テレビ番組やメディア向けコーディネートなどアイルランドの紹介、両国の理解・友好の橋渡しをしたりして活躍している。

トークショーでは17年にわたりアイルランドに暮らした在住者の目線で、首都ダブリンなど活気あふれる街の楽しさ、イギリスとも違った魅力を持つウイスキーなどの食材、素朴なパブや宿、息を飲むような断崖、映画「ナルニア国」シリーズのモデルとなったファンタジーの舞台、「スター・ウォーズ」のラストシーンにも登場した世界遺産の岩島「スケリッグ・マイケル」などの名所を、映像や写真などとともに紹介。ケルトの文化、古代遺跡、音楽につ

いて触れるだけでなく、38歳と欧州で最も若くインド系の移民の子で、同性愛者であることも公表しながら国民から高い人気を得ているレオ・バラカー首相の人気ぶりなど、現代政治や社会の話題も含めて紹介した。

本自公認人形造形師 株式会社二房

代表取締役 木村 公平 (63期)

〒100-0001 東京都千代田区千代田2-31-23

TEL 03-3260-1111

FAX 03-3260-1112

ハーバリウム&グルーデコ Casa Libre

主催 吉沢か津子 (81期旧姓 笠原)

東京都世田谷区にて今大人気の習い事、ハーバリウムとグルーデコの認定講師講座の教室、オーダー製作をしています

お気軽にお問い合わせ下さい

Instagram ID... ks1126

blog... <http://s.ameblo.jp/kasakotoshi/>

mail... jineerstrawberry@gmail.com

ユニバサッカーで日本金メダル

宮崎純一監督（80期）が報告

2017年8月29日、台北輔仁大学サッカースタジアムにて、日本代表はフランス代表に接戦の末1-0で勝利し、ユニバシアード台北大会で3大会ぶり6度目の優勝を果たしました。

の4年生13人のうち10人がJリーグ入りを決めていた日本サッカー界を担う逸材揃いです。

現役学生でもほとんどが各国プロリーグ2部、3部で活躍している選抜チーム。ファウル覚悟のプレーで必死に食らいつく南米チーム、ゴール前を固めて一発カウンターを狙う大柄な選手をそろえた欧州チームと「勝負にこだわる」激しい試合が繰り広げられます。日本は過去大会データをもとに「確かな

技術をベースにした攻撃的なチーム」構成を目指し、「冷静な観察に基づく、的確な判断ができる自立した選手」、「常に自らを向上させるために挑戦をする勇気を持つ選手」、「チームメートの挑戦を助けるための自己犠牲を厭わない選手」を選考の基準に、全国各大学リーグから130人以上を招集し選考。国内強化合宿、日韓大学定期戦、3回の海外遠征（マレーシア、台湾、ドイツ）でチーム作りをしました。



優勝を喜ぶ日本チーム

ベースは非常に高くJリーグのトップチームとも互角以上の戦いぶりを見せ、ブンデスリーガ2部、オランダリーグ1部のセカンドチ



歓声にこたえる宮崎監督

ム、台湾A代表にも勝利するというレベル。しかし金メダルを獲得するには、日本代表として戦う誇り、責任感を定着させることが世界大会を勝ち抜くため、際どい勝負を決する最も大切な要素と考えていました。

最終の福島県いわき市の合宿は大きなターニングポイントとなりました。現在も震災復興に向けて多くの方々が尽力を続けている地。2日に被災地復興支援のため自主製作されたドキュメンタリー映画「MARCHE〜マーチ〜」を皆で鑑賞しました。原発事故により避難を余儀なくされた小中学生のマーチングバンドが再結成され、Jリーグ愛媛FCの招待を受け公式戦ハーフタイムで見事な演奏を披露する姿を追っています。選手スタッフ共にサッカーができる日常の喜びとスポーツの持つチカラを再認識。翌日、原発事故復旧拠点となったJ

作る契機、エネルギーとなったに違いありません。

台北の空港に降り立った時から、熱心な地元ボランティアの方々の対応が温かく心に響きました。選手たちは決勝戦の朝を、「普段通りに過ごそうと」全員で確認。掃除道具を借りて全員で近所の公園の清掃活動を行いました。ボランティアの女性がネットニュースに投稿した話題になりました。

このような出会い、それに呼応する人間力を身につけてくれた代表の選手たちが今回の成果を手にするのが出来たと感じています。感謝すること、助け合うこと、どんな困難にも負けずに挑戦し続けること、小さなことも見逃さずに大切にする気持ちを忘れなかった成果であると考えます。

青山学院大学経営学部教授
宮崎純一（80期）

ひと・技術・豊かな未来。

TOSYS



TOSYSグループは
人間とテクノロジーが より高度に融合合う
豊かな未来づくりに貢献します。

69期 小川 亮夫

URL <http://www.tosys.co.jp>

芝パーククリニック

日本人間ドック学会

「人間ドック健診施設機能評価」認定施設

〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1
芝パークビルA館2階
TEL 03-3434-4485 FAX 03-3434-4007
<http://www.shibapark-clinic.jp>



55期 卒業60周年記念パーティー



56人が参加し卒業60年を祝った55期の会員

55期の仲間は11月15日(水)、東京・水道橋の東京ドームホテル42階のバンケットホール「シリウス」で卒業60周年記念パーティーを開催した。参加したのは上田方面から21人、首都圏から32人、岐阜、京都などから3人の56人。昼から約3時間、賑やかに懇談して旧交を温めた。ほぼ5年ごとに記念の会を開いており、小諸・菱野温泉での同期会以来5年ぶり。

55期は太平洋戦争末期、国民学校最後の1年生として入学、1954年に「上田松尾」生徒として高校に入り、ぼろぼろの正面講堂で正座させられて校歌、凱歌、応援歌などを覚えた世代。卒業の57年は不況のどん底で、その後60年安保を経て高度成長の担い手として「試百難」を潜り抜けてきた。パーティーでは宮島光男実行委員

長が「傘寿を目の前にして元気に集まることができた。『百難』とはいかないが多くの試練を超えて社会にも何ほどこかの寄与をしてきたことを喜び、今日を楽しもう」と呼びかけ、現役で日本ボクシングコミッション理事長の秋山弘志君の乾杯で開会した。懇談では高校時代の悪き話、バレー

班がインターハイ全国3位になった話題などで盛り上がり、その時ただ一人四国へ駆けつけた応援団長・町島正敏君(欠席)のメッセージが読み上げられた。各クラスの代表から近況報告があり、その中で1組の香山裕君が赤松小三郎顕彰会の活動を紹介、8組の三吉治敬君が「三吉米熊・慎蔵・龍馬の会

66期 コカリナ演奏が盛り上げる

11月5日(日)に66期の同期会を開催しました。写真。ホテル祥園(上田温泉)に66人が集合。6組担任だった坂口先生も来てくださり、楽しいパーティーでした。



佐藤清正さん(4組)の司会により、午後5時からオーブニングコンサートで黒坂黒太郎さん(正文さん8組)と矢口周美夫人によるコカリナ・竖琴(ハンガリーの楽器のこと)の演奏、矢

80期 当番期に同窓会の良さを知る

2017年度総会運営の当番が80期に回ってきた。以前より在京者は少人数で集い、近況報告の名目で飲み会を催していた。そのかいあってか、今回の段取りにおいて機動力を発揮することができた。80期は受付を中心にお手伝いし、75期の先輩方に会場内を取り仕切っていただき、全体の運営はメイン当番期の70期の先輩方にハンドリングしていただいて、史上稀に見る盛大な総会となった。前回は映画プロデューサー永井正夫さん(62期)に講演を行っていただき、業界の裏話、作品を創造する素晴らしさ、幻のノーベル賞山極勝三郎先輩のお話を頂いた。そして今回の第56回は、山



当番期をきっかけに団結を深めた80期のメンバーたち

浦善樹さん(63期)の講演である。山浦先輩は最高裁判事をお務めになり1万4千件の事件を取り扱われた、われわれ上田高校同窓生が誇る大先輩のお一人である。そこでまだ来会した事のない方々にお伝えしたい。こうした素晴らしい先輩方の多岐にわたる業界裏話やエピソード、人生観をお聴きし知的な刺激を受け、明日からの糧とし日々の原動力とする。懐かしい同級生とこの機会を再会の口実にして今後の交友を深めていける。など、有意義で充実した時間を過ごすことが出来るとお約束させていただきたい。人生において多感な時期を共に過ごした仲間、同じ場でそれを経験して来た人生の大先輩達。知的な刺激に加え、人と人の繋がりの大切さ楽しさを味わい、タイムスリップしてホックリした気分を味わえる同窓会総会に、是非お越しいただき、ともにホックリしていただきたいとお伝えする。

櫻井規喜(80期)

口夫人の歌で盛り上がりました。後日ニューヨークのカーネギーホールで演奏されました。そのあと物故者への近藤博道さん(11組)の読経があり、冥福を祈り黙祷を捧げました。上田周辺だけではなく東京方面からも10人ほどが出席。女性も多く、子供のころに戻って旧交を温めました。校

天然酵母田舎パンの店
ルヴァン Levain
 ふるさとへ帰って来たら
 ぜひ立ち寄ってください
 オーナー 甲田 幹夫 (65期)
 富ヶ谷店: 法谷区富ヶ谷 2-43-13 TEL 03-3468-9669
 信州上田店: 上田市中央 4-7-31 TEL 0268-26-3866

音楽家・コカリナ演奏家
 黒坂黒太郎 (正文) 66期
<http://www.kokorina.net/>

歌斉唱を行い田口博さん(5組・関東同窓会幹事長)の乾杯で懇親会が始まりました。1968年に卒業して50年。皆70歳近い年になり、健康上の問題で出席できなかつた方もおられたのは残念です。現役で働いている方も多く非常に励みになりました。予定より30分以上超過し凱歌を斉唱して散会しました。盛り上がり過ぎて集合写真を撮り忘れたのが心残りです。清水通男(66期)

会員短信

総会の出欠はがきより

43期 土屋 啓

週3日のデイケア通いと俳句三味の暮しですが、遠出はまだできません。同期の皆さん近況を報告し合いましよう。

44-5期 手塚敬一

昭和20年3月、5年制卒業（44-5期）上中獅子会の東京獅子会も90歳を越え解散。数名生存ながら脚腰悪く外出不可能者多くたぶん、皆さん欠席と思いますが、小生も今回が最後になるか。出席します。小生、脊椎管狭窄症、坐骨神経痛にて歩行困難ながら元気で独居生活を続けております。

44-4期 中村 強

6月10日に44-4期の同窓会が上田温泉で行われますので、これには出席できると思います。何とか頑張つて上田まで行って来たいと思つています。脚腰を訓練しているところです。

47期 三浦嘉治

最近の総会は内容が充実しておりますね。しばらくの間欠席しておりましたが、まだ元気で生活しており、昔をしのぶ心で、今回は出席しました。

48期 田原 敬

85歳だが60歳の気力で、毎日元気で過ごしております。

48期 吉村 功

高齢（86歳）と共に難聴が進み、総会は失礼致しますが、毎朝井の頭公園へのウォーキングとジム通い。そして囲碁が日課です。

51期 丸山 弘

健康に留意しながら有意義な余生を過している昨今です。赤松小三郎研究会にも毎回出席しています。

51期 黒川嘉郎

昨年11月からの練習成果か、6月3日の全日本マスターズレガッタ80歳以上エイトで早慶合同クルー他に快勝しました。今年は4月30日の対校戦では相手75歳クルーに、5月7日の戸田国際では早慶クルーに、3戦いずれも水を空けた快勝でした。

53期 堀内忠久

高梨さん倉沢さんほか役員の皆様さん3年間ご苦労さまでした。53期は年会費免除とありましたが、寂しい感じです。わざわざ書かなくても良いのでは…。

53期 塚田 靖

今年、3月21日から28日まで

寄付を頂いた方々（2017年4月1日～9月30日） ご協力ありがとうございました

期	氏名	金額(円)	56 成田邦夫	2,000	66 塩野崎英二	2,000	75 和田 匡	2,000
44-4	滝沢源平	2,000	58 田中 剛	1,000	66 清水通男	2,000	79 西沢 尚	1,000
44-4	高橋昭平	2,000	59 水出清仁	2,000	66 田口 博	2,000	79 三宅省吾	1,000
46	清水巻郎	2,000	60 白井 透	2,000	66 茂木俊郎	4,000	79 山口 博	4,000
47	西村 勉	5,000	60 竹倉征詞	1,000	66 清野勝芳	3,000	80 石黒久仁子	2,000
47	白田四郎	1,000	60 福嶋 宣	10,000	67 松本哲夫	4,000	80 伊藤英明	2,000
47	飯田久夫	3,000	61 西澤正捷	2,000	68 金子元昭	4,000	80 小山修一	2,000
48	田原 敬	2,000	61 麦島和子	1,000	68 碓田 茂	4,000	80 佐藤純子	1,000
48	城下栄三郎	10,000	62 秋田 勇	4,000	68 尾台孝男	2,000	80 新保有佐	2,000
48	吉村 功	2,000	62 岩井重一	4,000	69 下村文彦	1,000	80 鈴木巳季	2,000
48	竹花源内	5,000	62 小山平六	4,000	69 池田有美子	2,000	80 長谷川 剛	2,000
49	鶴見慎一郎	2,000	62 高梨奉男	4,000	69 古畑克巳	4,000	80 花井克之	1,000
50	翠川 勲	2,000	62 松井由美	10,000	69 本村龍生	2,000	80 山中英俊	2,000
50	尾台 久	2,000	62 依田欣五郎	4,000	70 清水博道	1,000	81 毛利元晶	9,000
50	吉村洋一	5,000	63 峰村芳夫	2,000	70 高橋淳子	2,000	83 尾添静子	4,000
51	保坂利勝	2,000	63 藤川 昇	2,000	70 山本文和	1,000	85 村上貴洋	2,000
52	河野政人	5,000	64 村居次雄	6,000	70 和田則夫	1,000	85 山下知子	2,000
53	高木快雄	5,000	64 小林武男	5,000	71 荒木 亮	2,000	99 永井洋平	1,000
53	服部聰一郎	2,000	65 土屋富志夫	4,000	71 小林秀一	1,000	99 矢島好太郎	1,000
53	須田武久	2,000	65 上原 昇	4,000	72 奥山利幸	4,000	110 小山智寛	3,000
54	石井光春	2,000	65 塩川明男	1,000	72 長坂武見	2,000		
55	土屋 務	3,000	65 保屋野良治	1,000	72 渡邊 温子	1,000	合計	249,000
55	宮島光男	2,000	65 丸山暢久	2,000	75 井出 淳	1,000		
56	立岩 環	2,000	66 秋山信悟	2,000	75 小泉行徳	1,000		



カナダにスキーに行つて来まし
た。

53期 服部聡一郎

4月初旬上田城へ行つて来まし
た。53期各組1本ずつ植えた桜は
まだつぼみでした。(15年前)

54期 深町勝男

0-75のサッカーに参加し
ています。普段は5,000-
10,000歩を続けています。

54期 田村 朗

上原昇さんの会長就任を機にま
すますの同窓会の発展、若い会員
増加を期待いたします。五四期会
の皆さん、老病に打ち勝つて頑張
りましょう。

54期 倉島 彰

3月末に大病に罹患し、2カ月
入院しました。一時は生死の境を
さまよいましたが、幸いに彼岸に
はいかず済み、6月初めに退院
しました。おかげで同窓会にも出
席できます。ありがたいことです。

54期 藤村延魚

皆さまにお会いするのを楽しみ
にいたしておりましたが、運悪く、
大学院の研究発表と重なってしま
い、都合が付きません。あとどれ
くらいかかるか、わかりませんが、
頑張つて、初志を貫徹したいと考
えております。

55期 宮島光男

卒業から60年の節目となり、記
念の同期会を11月15日(水)東
京・水道橋の東京ドームホテルで
開催します。戦後の荒波をなんと
か泳ぎ渡り、来年はいよいよ80代
を迎えます。2度目の東京五輪を
この眼で確かめ、残された人生を
有意義に過ごしていきたいと思っ
ています。

56期 笹沢政道

リウマチの進行で何かと不自由
ですが前向きに頑張っています。
盛会を心から願いたいと思いま
す。幹事の皆さま方に感謝!

56期 小平節夫

中高年向けの健康体操(2カ所
で計約70人、月5回) 中高年向
けのパソコン教室(1カ所5人
月2回)を教えています。(ほと
んど女性) 最近は疲れが出るので
あと数年かなと思っています。

57期 清水康弘

昨年9月27日地元の自主防災会
研修(50人)を上田で行い、市の
防災危機管理担当の方に大変お世
話になりました。そのあと、真田
丸、大河ドラマ館、上田城を見学、
また「上田藩主居館跡」(上田高
校)の説明を内堀校長にお願いし
たところ、住民から感謝されまし
た。お礼にふるさと納税を57期7
組と私の個人名で3万円寄付しま

した。納税は長野県を通してくだ
さい。

58期 森邦夫

会員の高齢化は、仕方がないで
しょうが、現役の方々の入会・参
加の働きかけを工夫してはいいか
でしょう。

59期 山口元彦

後期高齢者入りの節目だから集
まれとの59期幹事有賀氏の呼びか
けにより、久しぶりに出席します。
よろしく。

60期 松井石根

同期の白井会長よりすでに3代
目の会長の時代となり歳月の早さ
と共にだんだん同窓会での存在が
遠ざかって行きます。Something
ZZZを求めて70代後半に向けて
輝ければと思います。

60期 小山比呂志

高校の部OB会の活性化からも
関東同窓会への参加者が増える
と思います。プラスバンドOB・O
G会「松奏会」は10月1日上田で
「第3回吹奏楽を楽しむ会」を催
します。

60期 矢嶋邦彦

ギター、コーラス、スポーツク
ラブで何とかがんばっています。

60期 戸島忠彦

ただ今、帰省中。苗が植えられ
た水田では、夕方からゲロゲロ、

グワツ、グワツと蛙の合唱…。や
はり田舎は癒やされます。梅雨入
り後まもなく夏至というのに雨ナ
シ。畑の草刈りや草むしりなどに
精を出しています。熱中症を考
え、一般人の半分程度しか働きま
せん。焼酎漬け用に近く梅を採り
ます。

61期 沓掛 忠

お役目ご苦労さまです。3年間
本当に良く頑張っていただけ財政
も明るくなりました現執行部の皆
さまのおかげです。ありがとうございました。

61期 佐々木豊

東京都シルバーパスを取得し
て、都内中をバス旅行したり、舎
人ライナー、路面電車を楽しんだ
り。過日は大江戸線を暇に任せて
一周してきました。肺扁平上皮癌
などに負けてたまるものかと頑
張っています!

61期 笠井徳爾

高梨会長、執行部の皆さま、
3年間お疲れさまでした。新執行
部へ無事バトンタッチできる総会
になるよう 皆で盛り上げましょ
う。

61期 尾和正暉

公私ともすこぶる元気で30年以
上風邪も引いていません。会費は
キチンと払っています。

同窓生の新刊

この欄では同窓生の皆さんが最
近出版した本を掲載しています。
紹介したい図書がありましたら、
左記のメールアドレスに編集長の
本村までご連絡ください。

riceland@heia.ocn.ne.jp
(定価は外税)

「絶景とファンタジーの島アイル
ランドへ」 山下 直子(88期)



イカロス出版
1600円

活気あふれる首都ダブリン、モ
ハーの断崖など在住17年、同国の
公認ツアーガイドが魅力を伝え
る。

「日本人の起源」

山崎 茂幸(54期)



幻冬舎
1200円

古代史研究を基にDNA、言語
などを解析、縄文人が海外文化を
吸収し渡来人の力を借り弥生文化
を作ったとの仮説を打ち出す。

山川啓介さんをしのぶ



山川啓介さん

井上 剛 (61期)

がつていきましたが、私は、井出さんの個性はやはり青春歌謡に発揮されているように思います。

2017年7月24日、井出隆夫（作詞家山川啓介）さん（61期）が亡くなられました。井出さんは上田時代に深夜放送を聴いていてミュージカルに興味を持ちました。さらに映画「五つの銅貨」に感激、卒業する頃には「自分でもこんなものを作れたら…」と思うようになりました。

早大のサークル時代に書いたコマーションソングがいくつみたくさんの目に留まり、それを機にいずみさんが作曲を手掛けるTVドラマの主題歌や挿入歌を書くようになりました。それが「太陽がくれた季節」「帰らざる日のために」「ふれあい」など。特に「ふれあい」（歌：中村雅俊）は120万枚の大ヒットとなりました。

その後、矢沢永吉「時間よ止まれ」、岩崎宏美「聖母たちのララバイ」など作詞の幅は広

「生まれて来たのはなぜさ 教えて、ぼくらは誰さ 遠い雲に聞いてみても 何も言わない」のような詞。筑波大学の社会経済学者平山朝治教授は、「山川啓介ら作詞家が当時のアイドル歌手に提供した真実や夢を描いた詞が、アイドル本人や同世代ファンの、人間としての成長に大きな影響を与えた」と考察しています。「太陽がくれた季節」は、小中学校の音楽教科書にも掲載されました。「北風小僧の寒太郎」は井出隆夫の本名で発表されましたが、「風」は井出さんにとつて特別の意味を持っていたのではないかと思われます。井出さんが作つた小海小の校歌は「八ヶ岳に風がうまれたよ 松原湖こえてさそ



小海町の松原湖畔に建つ
北風小僧の寒太郎の歌碑

いきたよ…さあ見に行こう、望月小の校歌は「今日も風がおいしいね心の気球がふくらむよ…」と歌われています。

小海小の校歌には、「相木川は千曲とであつてまぶしい海まで旅をするんだね」とありますが、この詞は、山間の小さな町で生まれ、上田という少し大きな市に出、それから大都會に出て行った井出さんが、自分の歩みを振り返り、後輩に「さあ見にいこう 世界の大きさを」といざなっているように思えます。

井出さんの残した詞は、これからも多くの人の心に訴えかけることでしょう。

62期 高梨奉男

会長任期が終わり、ホツとしております。役員各位には、大変感謝しております。解決すべき課題が多々ありますが、上原会長よろしくお願いします。今後の人生を豊かにしてくれる 同窓の先輩、後輩たくさんの方々にお会い出来、うれしく感じております。今後も「元気をもらいに」参加します。

62期 片山隆行

高校時代に同じ新聞班で活躍してくれた山浦さんの講演を楽しみにして総会に出席します。

62期 小山平六

駐マラウイ大使の柳沢香枝さんと青年海外協力隊の樋村淳平さんの勇気に感心しました。

62期 甲田充彦

千葉の秀明大学にて終身顧問という、わけのわからない立場で教員養成に当たっています。

62期 岩井重一

高梨会長はじめ執行部の皆さまのご尽力に感謝しております。高梨会長、小山副会長は同期として3年間の務めを立派に果され、同期の一人として大変うれしく、御礼申し上げます。総会当日の山浦元最高裁判事の講演も楽しみにしております。

64期 浅井康彦

お客様に夢を 社員に夢を 地域に夢を
ウエマツヤ
別所温泉 一人旅の宿 **上松屋** 心の自由劇場
HEART THEATER

社長 倉沢 章 常務 倉沢 裕 (69期)

信州 / 別所温泉・政府登録国際観光旅館
〒386-1431 長野県上田市別所温泉 1628 番地
TEL.0268-38-2300 FAX.0268-38-8501

Outsourcingの知識集団
株式会社 **fellow**

取締役社長 古畑克巳 (69期)
(公認会計士)

東京都千代田区内神田 1-18-11 東京ロイヤルプラザ 1109 号
TEL 03-3293-8931 FAX 03-3295-6005
<http://www16.ocn.ne.jp/~fellow/index.html>



ワーカーホリックの「第1ステージ」が終わり、ワーク・ライフ・バランスに徹した「第2ステージ」も来春に定年を迎えます。「第3ステージ」をどのように過ごさか模索中です。

65期 上原昇

関東同窓会発展のため、微力ながら会長職を3年間つとめさせていただきました。ご協力のほどよろしくお願ひします。

69期 浅野祐三

今年3月29日の同期会で46年ぶりに再会できたことが、今回の同窓会に出席しようと決心させました。楽しみにしています。

69期 関和義

松江に向わいているために参加できません、恐縮です。連れ添いの講演同行と民泊で結構多忙な毎日を通して充実していること、うれしく思います。「やり甲斐」がキーワードでしょうか。

70期 大橋志津江

初めて参加いたします。よろしくお願ひ申し上げます。70期6組は毎年クラス会をしています。他クラス、他学年の皆さまとお会いできるのは、とても楽しみです。

74期 飯嶋俊樹

総会欠席で恐縮です。横浜に居を構えて17年になりました。来年、定年を迎えます。子供2人は独立し、休日は山歩きを楽しんでいきます。

75期 一之瀬康利

趣味で音楽活動をしており、趣味が高じて、CDを出すことになりました。上田や同窓会を題材にした楽曲を創りました。音楽好きな方、ぜひ一緒に楽しみましょう。

75期 樋田成人

蝶の採集・飼育・研究活動を趣味に、石垣島や北海道、サイパンを旅しています。蝶に興味のある方は、ぜひご一報ください。

79期 荻原貴

65歳定年まであと10年。その後の人生設計を考える時期になりました。(まだ、少し早いか…)。

81期 四方(森)ゆかり

母校の東京外語大の同窓総会と重なり、こちらも新役員になりましたので、欠席するわけにいきません。4時近くになるかもしれませんが、出席いたします。

81期 毛利元晶

5月上旬、鎌倉の由比ヶ浜、材木座海岸で赤潮が発生。夜は夜光虫で海が光るのを久しぶりに見に行きました。20年前は、鎌倉高校前駅の海岸でした。

83期 竹内延彦

今回も失礼しまして申し訳ございません。引き続き故郷信州のために汗を流してまいります。今後ともご指導よろしくお願ひいたします。

100期 田中篤志

いつもありがとうございます。会報を見て、103期の皆さま方が同期会を行ったというのは、とても素晴らしいことだと感じました。高校卒業から十数年、100期もこういつた機会を設けられたら…と思います。

101期 山岸麻悠美

新年会では先輩方の前で演奏する機会をいただきましてありがとうございます。今回は参加できず、非常に残念ですが、また皆さまにお会いできる日を楽しみにしております。

102期 富岡加奈子

子どもが生まれ、しばらく欠席になりそうです。18年1月2日に上田駅前の東急REIホテルで、102期の同期会を開催する予定です。

心よりお悔やみ申し上げます

訃報

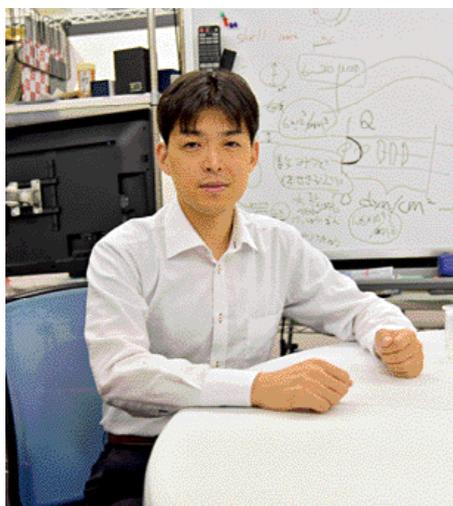
期	氏名	死亡年月日	期	氏名	死亡年月日	期	氏名	死亡年月日
34	児玉恂一郎	2017年2月	47	柄澤 和彦	2016年6月30日	57	池田 盛司	2017年1月22日
35	石井 暢	2014年	48	佐藤 尚	2017年3月25日	58	柳澤 義孝	2017年3月23日
39	阿部 博	2015年9月25日	51	八木 浩輔	2014年5月末	59	山崎 勝二	2013年4月
46	出浦 仁	2012年	54	市河 富弘	2017年5月14日	59	清水 紀男	2014年12月29日
47	小山 邦朋	2017年1月31日	55	内堀真通彦	2017年2月18日	61	井出 隆夫	2017年7月24日
47	佐藤 雄一	2017年5月13日	56	河西 邦彦	2016年8月14日	62	松山 武	2017年4月23日
47	西澤 祥平	2016年7月7日	56	藤沢 行雄	2017年1月	64	荻原 敏春	2017年2月4日
47	佐藤 一郎	2017年4月	57	有井 毅	2017年3月	69	並木 省吾	2017年9月13日

編集後記

大学の夏休み、帰省した友人と過ごした時、ギターを伴奏に口ずさんだ曲に「ふれあい」があった。作詞した山川啓介さん(61期)が上田高校の先輩だと知ったのは、訃報からしばらくたった集まりのことだった。井出隆夫の本名で書いた「北風小僧の寒太郎」も山川さんの詞だ。▼定年を機に東京に戻って初めて関東同窓会の総会に出たら、断る理由が見つからないまま会報の仕事を引き受けた。いくつか失敗にお手上げ状態になり役員のサポートに支えられてどうにか24ページを出すことができた。▼感謝すべきは、情報の提供や原稿依頼をになく断られたことがなかったことだ。生前同窓生との交流はほとんどなかったという山川さんの追悼文は、同期の井上元編集長が買って出してくれた。▼ご本人の写真が手に入らず日本作詞家協会に事情を話すと事務所の担当者を紹介してくれ、お願ひして晩年の姿を送っていただいた。▼リラックアスした詩人の日常の笑顔に、ままならぬ編集作業による心の凝りがほぐれる思いがした。多くの人の話を活字で伝えてきたが、故郷や学校を同じくする縁に関わる大切なさを感じている。本村 龍生



流体構造連成で世界をリード 滝沢研二さん(95期)



研究室でビジョンを語る滝沢さん

今後飛躍的に発展することが期待される先端研究領域とその領域で世界的に活躍する研究者に4年に1度与えられるトムソン・ロイター（米国ニューヨーク）の「第4回サーチフロントアワード」を受賞した。論文の引用頻度が世界の上位1%以内。工学/流体力学のモデリング分野での研究成果と今後の発展の可能性を高く評価されての受賞だった。

専門は流体力学、計算工学という分野。空気や液体など流体と構造物とが強く関係し合っている物理現象の「流体構造連成」の研究を中心に取り組んでいる。

東京工業大学の機械工学で流体の数値解析を専門とする先生に出会って興味を引かれた。「コンピューターでシミュレーションすることで、自然界で起こりうる現象をすべて把握したような気分が味わえる。そこに強い魅力を感じた」

博士課程修了後、独立行政法人海上技

術安全研究所に入り、船の動きと海流という構造物と液体の二相流の問題に取り組んだのち、米国テキサス州・ライス大学の研究員として赴任、流体構造連成の先駆者で世界的権威であるT・テズドゥヤー教授のもと世界最先端の研究に取り組む機会に恵まれたことが、飛躍の契機となった。NASA（米航空宇宙局）との共同研究による、宇宙船や計測機器などに使われるパラシュート降下のシミュレーションを、複数の非対称な動きが対称性をもつと仮定して単純化した条件で計算したことから開けた。

この手法を医療分野での血流の流体解析に発展・応用。日本に帰ってから「放射線医学と数理学の協働による高度臨床診断の実現」プロジェクトに誘われて、大動脈と脳動脈などの大きい血管を対象に解析に取り組んでいる。人体内の流体現象は目で見るのが難しい。名医がシミュレーション映像を見て経験知を裏付けるデータとして喜んでくれたことに大きな手応えを感じる。

さらに、早稲田大学では自動車関連の技術に強い教員が多いことがきっかけで手掛けたタイヤの流体解析に取り組み、路面とタイヤの接触を正しく表現する世界で唯一の計算法を開発。計算工学講演会グラフィクスアワードを受賞した。

宇宙や医療などさまざまな対象領域に広がる流体解析だが、実際にモノを作る人、実証実験などの実践ができる人との連携なしには研究できない、という。

大学でも注目の研究者として、期待が

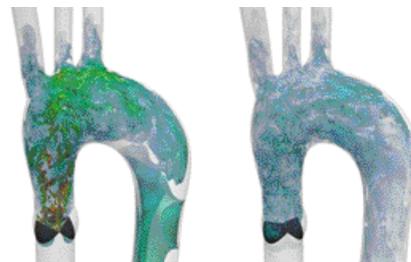
高いが、研究室の学生たちに「数値解析者は何にでも対応できるような解析技術を網羅して持っていなければならない。1つのシミュレーションを徹底的に見て、できるだけたくさんのことを読み取れ」と説いている。

上田四中出身。高校時代は吹奏楽班でトランペットを吹いていたが、すっかり縁が遠くなったそうだ。物静かでクールな印象があるが、夏には上田で開催された「数学キャラバン」に参加して、故郷の高校生たちに科学の力、魅力を伝道してくれている。

滝沢さんは早稲田大学理工学術院創造理工学部総合機械工学科・准教授です。



パラシュートの動きを計算で再現 (滝沢研究室提供)



血液と血管の相互作用も解析 (同)

ホームページをご活用ください

関東同窓会のホームページ (<http://uedakant.sakura.ne.jp>) には1日平均、約30件のアクセスがあります。IT推進委員会経由で関東同窓会の活動や会員の動向などの頻度の高い情報発信を心掛けています。「皆の掲示板」や「会員の意見交換の広場」欄を開設して会員の皆さま自身による情報交換も可能なように作られていますので、ぜひご活用ください。